

●施設の概要

施設名	岐阜市畜産センター公園	所管課	都市建設部公園整備課
所在地	岐阜市椿洞 776 番地 4		
指定管理者名	昭和造園土木株式会社		
指定期間	令和4年4月1日 ～ 令和9年3月31日		
選定方法	☒ 公募 ☐ 非公募		
料金制	☐ 使用料 ☐ 利用料金 ☒ 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	134,000,000 円		
施設の設置目的	広大な自然環境の中で、散策やレクリエーションなどの市民の活動のほか、自然と触れ親しみ、体験し、楽しむことができる場として設置		
施設概要	・公園種別 総合公園 ・開設年月 昭和48年3月 ・開設面積 261,565 m² ・主な施設 芝生広場、遊具広場、バラ園、乗馬施設、ドッグラン、交通教室、グラウンド、展望エリア ・その他の施設 園路、登山道、展示スペース、ビジターハウス、トイレ、休憩所、駐車場など		

●利用状況

単位：名

		一般利用者	バーベキュー施設	グラウンド使用	遠足・見学等団体利用	交通教室利用	利用者合計
R3 年度	上半期	69,952	0	6,231	480	2,318	78,981
	下半期	75,733	0	12,842	1,894	3,402	93,871
	合 計	145,685	0	19,073	2,374	5,720	172,852
R4 年度	上半期	64,802	0	7,695	2,631	2,731	77,859
	下半期	76,887	0	7,202	4,761	3,404	92,254
	合 計	141,689	0	14,897	7,392	6,135	170,113
R5 年度	上半期	63,924	0	7,643	3,374	3,116	78,057
	下半期	72,624	0	6,629	5,356	4,148	88,757
	合 計	136,548	0	14,272	8,730	7,264	166,814
R6 年度	上半期	65,547	0	7,993	3,747	3,082	80,369
	下半期	68,974	0	7,394	3,741	4,069	84,178
	合 計	134,521	0	15,387	7,488	7,151	164,547
R7 年度	上半期	63,060	0	7,707	4,185	3,175	78,127
	下半期	72,726	0	8,013	3,661	4,617	89,017
	合 計	135,786	0	15,720	7,846	7,792	167,144

●業務の履行確認

区 分	確 認 事 項	履 行 状 況（実施内容・時期等）
利用者 サービス	1 経営管理に関すること	1 事業実施計画書の作成 毎年4月作成 2 業務日報 毎日 3 業務報告書 毎月
	2 施設の運営に関すること	1 市内を中心とした各団体との連携並びに協議会を設置 ・岐阜市畜産センター公園運営協議会 椿洞自治会 会長、椿洞農業用施設管理組合 組合長、岐阜市常磐農政推進委員 ・諸団体へ活動支援及び活動協力を行った。 岩野田児童センター ときわまちづくり協議会 NPO 法人ふれあいの森自然学校 岩野田中学校（支援学級体験学習 生徒受け入れ、イベントボランティア受け入れ） 岐阜県立岐阜高等学校 自然科学部生物班（環境整備） 岐阜県国際園芸アカデミー（インターン生受け入れ） 常磐小学校（プレーパーク受け入れ、講師派遣） 2 教育による知識向上 ・飼養衛生管理関連教育 随時 ・緊急時対策教育 随時 ・危機管理対策教育 随時 ・接遇教育 随時 ・（一社）公園管理運営士会中部支部 樹木日常点検講習会 10/20 ・みのインタープリター・クラブ 超実践型指導者研修 10/26 ・ぎなんプレーパークの会 子どもの居場所プレーパークの勉強会 岐阜の子どもの権利に関する条例を深く知って「子ども達自身が持つ、生きる力を養う場づくり」「子どもと親の居場所づくり」の大切さを考えよう 11/9・10 ・（一社）公園管理運営士会中部支部 都市公園法について 12/12 ・岐阜市保健所 動物取扱責任者研修 2/10 3 資格保有者による管理 ・動物取扱責任者 ・公園管理運営士（常勤・非常勤） ・造園施工管理技士（1級・2級） ・樹木医 ・岐阜県農薬管理指導士 ・食品衛生責任者 4 社会活動への貢献 ・自主事業の売上の一部を「一般財団法人あしなが育英会」、「認定NPO法人世界の子どもにワクチンを 日本委員会」に寄付 「あしなが育英会」50,850円「世界の子供」50,850円 ・「働きたい!応援団 ぎふ」 サポーター企業に登録

区 分	確 認 事 項	履 行 状 況（実施内容・時期等）
利用者 サービス	3 乗馬業務	1 給餌、厩舎清掃、体調管理 2 乗馬、引き馬、ふれあい活動 （運営は、自主事業として岐阜市乗馬会に委託）
利用者 サービス	4 広報の方策について	1 WEB サイト(ホームページ)やスタッフブログを通じ情報を発信 2 公式 LINE アカウントによる情報発信 ・イベント情報 : 都度 ・公園の日々の変化: 週 1 回程度(季節の植物、お知らせ等) 3 Instagram ・公園の日々の変化: 週 1 回程度(季節の植物等) ・公園内の今のオススメ情報を発信し、見ごろ箇所には「おすすめスポット」看板を月替わりに設置 ・インフォメーションに、「おすすめスポット」箇所を掲示 4 X (旧 Twitter) Instagram、YouTube 投稿のお知らせ 5 YouTube 公園内の様子、見どころ解説等: 適時 6 公園パンフレット・ハイキングマップ公園内配布 7 フリーペーパーに公園情報の掲載 8 民間雑誌・ムック・フリーペーパー(電子版を含む)への掲載 ・中日岐阜ホームニュースわっちとおまはん 10 月・11 月・12 月・2 月・3 月号 ・チュウニチギフー! 1 月号 ・しんぶん赤旗日曜版 10/12 ・岐阜市 city 版咲良 NET 3 月号 ・まま・ここっと春号 9 情報サイト(ウェブサイト)、電子アプリ等への施設情報の掲載 ・「まっぶる情報」(昭文社) ・「のびとく」 ・「PARKFULL」(公園専門サイト) ・「おでかけトヨタ」すべり台特集 ・「HondaDog」おでかけ情報 ・「ウォーカープラス」((株)KADOKAWA、(株)角川アップリンク) ・NAVITIME((株)ナビタイムジャパン) ・「東海おでかけ公園 BEST ガイド」(株式会社流行通信) ・「春のおすすめドライブスポット」2026 年春版(トヨタカラーラ愛知) 10 スマホ等用アプリに掲載 ・おでかけ用アプリ「のびとく」

区 分	確 認 事 項	履 行 状 況		
		履行状況	履行実施月	備 考
自主事業・ 提案事業	1 喫茶店の営業	実施	通年	利用者の憩いの場として飲み物、軽食を販売した。
	2 喫茶店のメニューの充実	新規	10 月～3 月	沖縄フェアと称し、既存の沖縄ぜんざい以外に、タコライス、ソーキカレーなど5種類のメニューを期間限定で提供した。飲み物と一緒に黒糖を提供した。
	3 LINE お友だち優待	新規	11 月～12 月	LINE お友だち、新規お友だち登録された方に喫茶で“おやき”1 個と交換できるLINE クーポンを配布。
	4 ドッグラン	実施	通年	フリーゾーンと中型小型ゾーンの 2 つのエリアで運営した。 (下期登録犬数 559 頭)
	5 里山植物園	実施	通年	森林に自生する野生種・貴重種を集めた施設を運営した。
	6 自然観察コーナー (ビジターハウス玄関ホール内と展示ホール内)	実施	通年	身近な自然に親しみ、学ぶことのできるコーナーを設置し、木の実、昆虫、鳥の巣・ハチの巣、岩石等の標本や木の実等を使ったクラフト(手作り工芸品)を展示した。
	7 樹木名板の設置	実施	通年	公園まるごと植物図鑑構想に向け、樹木名板を随時設置した。木製名板を新規に作成し、設置した。
	8 薪販売	実施	通年	SDGs の目標 15 の取り組みとして、伐採した樹木は土留め柵等に再利用、再利用できないものは薪に加工し、販売した。
	9 プレーパーク	実施	10 月 11 日 12 月 13 日 2 月 14 日	子どもも大人も、「やりたい」気持ちを大切にして、各自の責任で自由に遊びを作り出していくイベントを開催した。
	10 モルモット もぐもぐタイム	新規	12 月 1 日～	天空の牧場 奥飛騨山之村牧場から冬期閉鎖期間中のモルモットの貸出の打診を受け 11 頭を借り受け。モルモットにおやつをあげるイベントを開催した。
	11 校外学習受け入れ 岩野田中学校支援学級	実施	10 月 2 日 11 月 20 日 12 月 4 日 1 月 22 日 2 月 26 日 3 月 13 日	岩野田中学校の支援学級担任教師から校外学習の依頼を受け、散策会やクラフト体験、農作業体験などの校外学習を行った。
	12 椿洞ワクドキ 自然散策会	実施	10 月 23 日 3 月 26 日	森の案内人から季節の草花や木々についての話を聞き、森の中を散策するイベントを行った。
	13 あそびの広場 2025 ～芝生広場で遊ぼう！～	実施	11 月 3 日	芝生広場でご家族みなさまが 1 日楽しく遊べるイベントを開催した。(レクリエーション遊び、ネイチャークラフト、ミニプレーパーク、ピザ焼き体験、移動どうぶつ園、ポニー乗馬&ふれあい、縁日あそび、ワークショップ、乗馬エサあげなど) 岩野田中学校の生徒 14 人がボランティアとして、各ブースの運営に参加した。 ふわふわバルーン、大道芸、キッチンカーを業者に依頼した。

区 分	確 認 事 項	履 行 状 況		
		履行状況	履行実施月	備 考
自主事業・ 提案事業	14 椿洞まるっと 里山体験	新規	1 月 18 日	『食べる』『作る』『遊ぶ』で冬の里山を家族で楽しく遊べるイベントを開催した。 (薪割り、シイタケ菌打ち、ピザ焼き体験。木の実や枝の輪切り、竹を使ったクラフト。削り馬と銚(せん、ドローナイフ)を使ったクラフト。竹のおもちや、コマ回し、けん玉、チョークお絵かきなどの昔遊び) チーム清流ミナモに依頼し、ミナモがイベントに参加した。
	15 ミニ盆栽風苔玉の ワークショップ	新規	10 月 10 日	イロハモミジ、ヤブコウジ、シダ類をドロ団子に植え、皿に配置し苔で覆い、白砂などで装飾し盆栽風に仕上げるワークショップを開催した。
	16 秋色の 季節の花の寄せ植え ワークショップ	実施	10 月 22 日	ムラサキ、オレンジ、白のハロウィンを連想させるような秋色の植物を寄せ植えるワークショップを開催した。
	17 常磐小学校 1 年生 プレーパーク	実施	11 月 7 日	常磐小学校 1 年生を対象としたプレーパークを実施した。令和 5 年度から実施。
	18 子どもの居場所 プレーパークの勉強会	新規	11 月 9 日	静岡県富士市でプレーパークなどの活動を行っている NOP 法人ゆめ・まち・ねっこの代表を招き、『子どもの権利に関する条例』とプレーパークの関りなど実例を聞き、岐阜市の「子どもの権利に関する条例」を読み解きながら学ぶ勉強会を開催した。
	19 ミニ クリスマスツリーの ワークショップ	実施	11 月 13 日	ツルで作ったツリーの土台に松ぼっくりやどんぐり、綿の実、木の枝などの自然素材、リボン、毛糸をグルーガンで接着してクリスマスツリーに仕上げるワークショップを開催した。木の枝を切ったものを利用したサンタクロースも製作した。
	20 青空ヨガ教室	実施	11 月 17 日	ヨガが初めての方や、運動が苦手な方でも楽しめるやさしい動きのヨガ教室を開催した。
	21 テリントン T タッチ ワークショップ	実施	11 月 18 日 19 日	講師としてイギリスからティナ コンスタンス先生を招き、岐阜市乗馬会と共催で開催した。
	22 クリスマスワッグの ワークショップ	実施	11 月 26 日	生の針葉樹の葉と、ドライになった葉、木の実などを束ねてワッグに仕上げるワークショップを開催した。
	23 常磐小学校 第 28 回 ときわふれあい	実施	11 月 29 日	常磐青少年育成市民会議・常磐小学校から講師として参加依頼があり受託。ドングリやじろべいとドングリゴマを製作した。 (令和 5 年度から実施)
	24 葉っぱ×陶芸 葉っぱ模様の小皿 ワークショップ	新規	12 月 4 日	陶芸用の白い粘土を麺棒で伸ばし、茶色の粘土で模様を付け、葉っぱを貼り付け麺棒で擦り、葉脈を写し取って、皿の形に成形するワークショップを開催した。
	25 冬をあたたく彩る クリスマスリースの ワークショップ	実施	12 月 5 日	ツル植物をリース状にし、松ぼっくり、リボン、生のヤワラスギで装飾。紙粘土で作ったサンタのオーナメントをリースにつけて仕上げるワークショップを開催した。

区 分	確 認 事 項	履 行 状 況		
		履行状況	履行実施月	備 考
自主事業・ 提案事業	26 新年を彩る 季節の花の寄せ植え ワークショップ	実施	12 月 9 日	舟形のプランターに葉ボタンやストック、 ビオラなどのお正月をイメージした季節 の花の寄せ植えワークショップを開催し た。
	27 0歳からのコンサート	実施	12 月 15 日 2 月 9 日	途中入退場 OK、抱っこで歩きながら、ベビ ーカーを押しながら、お子様のペースに合 わせてご家族みなさまで楽しめるコンサ ートを開催した。出演者の手配等の主催は 地元、椿洞にお住いの方をお願いした。
	28 ミニ門松の ワークショップ	新規	12 月 19 日	孟宗竹の筒に細い唐竹、ナンテンの実、マ ツの葉などの花材、参加者自身で作る折り 紙の鶴、ちりめんのボールなどを配してミ ニ門松に仕上げるワークショップを開催 した。
	29 そとあそび大作戦	新規	1 月 31 日 2 月 23 日 3 月 28 日	プレーパークのエリアに参加者が遊具を 作り、作った遊具で遊ぶことを目標とした イベントを開催した。
	30 生花で作る春色の ブーケワークショップ	実施	2 月 10 日	ガーベラ、カーネーション、スイートピー、 ユーカリなど 8 種の生花をツタのリース を枠にして束ねてブーケに仕上げ、ラッピ ングをしてリボンをつけて仕上げるワー クショップを開催した。
	31 季節の花の寄せ植え ワークショップ	実施	2 月 25 日	西洋マツムシソウ、ネメシア、スノーポー ルなど 6 株の季節の花の寄せ植えワー クショップを開催した。
	32 春の草木染め ワークショップ	実施	3 月 30 日	染料にはヒサカキの実とサクラの枝から 抽出した 2 種類を用意し、ぬぐいに輪ゴム やペットボトルの蓋を用いて絞り模様を 施すワークショップを開催した。
	33 季節のオブジェ設置	実施	12 月～3 月	園内の木材を有効活用し、ビジターハウス 前の花壇にサンタクロースのオブジェを 作成・設置した。
	34 ビジターハウス 展示ホールの 壁面展示	実施	通年	11 月 4 日～30 日 絵画展 上記以外は、季節ごとに園内の植物や風景 の写真を展示した。
	35 特定規模電気事業者 (PPS) の選定	実施	通年	業者を選定し、より安価な事業者と契約を 締結した。
	36 省エネ・節電対策	実施	通年	エアコンの設定温度を最適化（夏季 28℃、 冬季 20℃を目安）し、省エネ・節電対策を 実施した。

区 分	確 認 事 項	履 行 状 況		
		履行状況	履行実施月	備 考
施設管理	1 建物施設管理	実施	通年	建物の点検、清掃
	2 病虫害の防除	実施	通年	日常の確認・除去
	3 管理道路・散策路の管理	実施	通年	パトロール(環境整備作業巡回時に実施)、 除草・階段補修・修繕、倒木、落枝、折枝、 枯損木、枯枝、除雪等処理
	4 ため池(松尾ヶ池)の管理	実施	通年	パトロール(環境整備作業巡回時に実施)、 除草
	5 駐車場の管理	実施	通年	パトロール(環境整備作業巡回時に実施)、 除草、枯損木・枯枝・不法投棄ゴミ等除去、 ライン引き
	6 日常点検業務・施設の保守 点検・定期管理業務	実施	通年	施設(火災報知機器、電気系統)の保守点 検・定期管理業務の適宜実施
	7 森林、山、広場、バラ園、 花壇等の管理	実施	通年	・散策路のパトロール ・枯損木、倒木、支障木、折枝、支障枝の 処理、除草 ・樹木医による診断実施(2回/年) ・芝刈り、除草、病害処理、補修、排水改 良、剪定、花殻摘み、病虫害防除・消毒 他 ・花壇に花苗植栽 ビジターハウス前花壇 1回 その他花壇(15カ所) 1回 計400株 ・里山植物園の維持管理 (身近な野草等を集積) ・湿生植物園の維持管理 ・アジサイ園の維持管理
	8 トイレ等定期点検業務	実施	通年	園内のトイレ等の点検
	9 サンデー広場の管理 (芝生広場)	実施	通年	・芝刈り 年10回以上 実施 (今期 3回実施) ・ブラッシング 年4回以上 実施 (今期 3回実施) ・施肥、殺菌、土壌処理の実施 ・支障枝の除去 ・病虫獣害対策 1回 ・落葉・落枝清掃、野生動物の糞の始末、 ゴミ拾い、雪の塊壊し

区 分	確 認 事 項	履 行 状 況		
		履行状況	履行実施月	備 考
施設管理	10 衛生管理対策	実施	随時	・「家畜伝染病に関するマニュアルを遵守するための手順書」に基づき実施 ・飼養衛生管理基準の遵守 1 洗浄・消毒環境の整備 2 チェックシートを用いた消毒の徹底 ・野外動物対策 1 扉、柵、網等の設置・保守 2 掘起し・糞があった場合、石灰散布
	11 公園及び衛生管理区域への立ち入り制限及び措置	実施	随時	公園及び衛生管理区域の出入口 1 プラスチックフェンスを設置 2 立ち入り禁止等、入場制限表示を設置 3 石灰帯による消毒の注意喚起看板設置 4 石灰帯の設置
	12 家畜飼養管理			
	1) 獣医師等による診療、予防接種等	・馬の健康管理 (歯の治療 1 回、傷などの治療 5 回、装蹄 2 回) ・馬の予防接種 (インフルエンザ 2 回／年、日本脳炎 1 回／年、破傷風 1 回／年)		
	2) 飲水設備清掃	毎日実施		
	3) 馬房清掃	毎日実施		
	4) 消毒	・衛生管理区域・厩舎の出入口に洗浄槽・消毒槽を設置し、チェックシートを用いて管理 ・噴霧器を用いて車両下部を中心に消毒 ・イノシシの糞があった場合、該当箇所に石灰散布		
	5) 飼料給与	乗用馬：4 回/日		
	6) おが粉交換	適宜交換		
	7) 餌の配合	ふすま＋ネオナーリン		
	8) 管理業務	1 乗馬施設堆肥運搬：毎日 2 おが粉引き取り：今期 4 回 3 体調管理(乗馬)：毎日 4 衛生管理区域内の除草 5 馬房の管理・修繕		

区 分	確 認 事 項	履 行 状 況
施設修繕	修繕実施状況 ・迅速な修繕の実施 ・指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	【修繕内容】 1 イノシシ被害補修 2 イノシシ被害補修 3 イノシシ被害補修 4 樹木名板設置 5 山道整備 6 馬房壁修繕 7 土留め板設置 8 雨樋補修 9 看板補修 10 案内看板設置 11 案内看板設置 12 汚泥供給サクシオン 13 土砂撤去工事 14 排水経路高圧洗浄 15 窓枠修繕 16 イノシシ被害補修 17 日よけ修繕 18 イノシシ被害補修 19 白線引き 20 散水栓フタ交換 21 ガラス交換 22 支柱チェーン修繕 23 アスファルト補修 24 イノシシ被害補修 25 土留め補修 【場所】 アジサイ園 芝生広場 健康広場 植物見本園 椿の森 乗馬施設 乗馬施設 乗馬施設 グランド南 山道 園路 清流苑 ドッグラン ビジターハウス 乗馬施設 芝生広場 交通教室 交通教室北 交通教室 芝生広場 乗馬施設 芝生広場北入口 北駐車場 芝生広場西 里山植物園上部
危機管理・法令遵守	その他の留意事項、関係法令の遵守、個人情報の保護、非常時の対応策について	1 その他の留意事項 ・公園に対する意見に対し丁寧に話を聞き、迅速な対応に努めた。 ・家畜(馬)の健康状態に留意し、必要に応じ獣医師に診察を依頼した。 ・衛生管理区域の防疫体制の維持のため、公園整備課の立ち合いの下、現地確認を行った。(毎月1回) 2 関係法令の遵守 ・関係法令について、その遵守の徹底を図った。 3 個人情報の保護等 ・守秘義務について全体会議で徹底し、拾得物の確認などで個人情報を確認する場合は個人情報の保護に努めた。 4 非常時の対応策について ・各種講習会を実施して、適正な対応が出来るよう備えた。 1) A E D 備品の取り替え (有効期限管理) 2) 防火訓練の実施 (年2回) 3) 救命講習 (年1回) ・台風情報を受け、危険箇所の点検・補修を行った。 ・豪雨の際に、設備・施設を点検し、危険箇所の立入禁止、枝折れ等危険箇所の修繕を行った。 ・職員緊急連絡網の整備と更新 5 防犯カメラを3か所(南駐車場、芝生広場の多目的広場、複合遊具)設置し、事故・犯罪の予防、事象の確認に役立てている。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	公園利用者 500 名から回答を得た。 (実施期間：令和 7 年 10 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日)
利用者アンケートの実施結果	1) 年 齢：10 代 1%、20 代 6%、30 代 35%、40 代 27%、50 代 14%、60 代以上 17% 2) 性 別：男性 40%、女性 60% 3) 住 所：市内 76%、山口市 10%、その他県内 11%、県外 3% 4) 来園人数：1 人 12%、2 人 23%、3 人 29%、4 人 23%、5 人以上 13% 5) 来園形態：家族 78%、親戚 1%、友人 4%、友人とその家族と 3%、 その他(一人で) 14% 6) 知名度：前から知っていた 89%、口コミ 2%、ウェブサイト 2%、SNS 2%、 広報ぎふ 2%、その他 3% 7) 来園頻度：ほぼ毎日 1%、週 2～3 回 8%、月に 1～2 回 25%、年に数回 23%、 久々・たまに 38%、初めて 5% 8) 来園目的：散歩・散策 24%、芝生広場 17%、複合遊具 22%、ドッグラン 13%、 交通教室 14%、グラウンド 5%、その他 5% 9) 満足度ハード面：(大変満足・満足合計 92%) 大満足 38% 満足 54% 普通 6% やや不満 2% 10) 満足度ソフト面：(大変満足・満足合計 90%) 大満足 35% 満足 55% 普通 9% やや不満 1% 11) 職員の対応：(大変満足・満足合計 90%) 大満足 36% 満足 54% 普通 10% 12) 総合満足度：(大変満足・満足合計 93%) 大満足 40% 満足 53% 普通 6% やや不満 1% 13) 次回の利用について： 来る 78% 来たいと思う 21% どちらともいえない 1% ○評価対象となる項目の合計 1) 満足度ソフト面：(大変満足・満足計 R7 下半期 89.2% R7 上半期 84.6%) 2) 職員の対応：(大変満足・満足計 R7 下半期 90.0% R7 上半期 84.6%) 3) 総合満足度：(大変満足・満足計 R7 下半期 92.8% R7 上半期 89.4%)
利用者からの要望・苦情と対応・改善	・アンケートや問い合わせで、動物を見たい。 →11 月開催の「あそびの広場 2025」にて、移動動物園の招致やポニーによる乗馬・餌やり体験、関連ワークショップを実施し、動物とのふれあいの場を創出した。また、山之村牧場株式会社との連携によりモルモット 11 匹を借り受け、12 月から常設の展示および餌やり体験を実施することで、冬季の魅力向上を図った。 ・たくさんの椿があるので咲いた椿を観たい。 →椿の森の整備（特にイノシシによる掘り起こし跡の整備）と適期の追肥、剪定を実施した。その結果、例年より多く開花し、利用者様から好評価を得た。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区 分	選 定 基 準	評 価 項 目	具 体 的 な 業 務 要 求 水 準	評 価		
				指 定 管理者	所管課	評 価 委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	市民が平等に利用できるための基本的な考え方についての評価	○有料公園施設や駐車場の利用について平等性を保つ姿勢や方策を実施している	A	A	A
			○法令等で禁止されている行為、危険行為、迷惑行為について使用の制限などを実施している	A	A	A
		当該都市公園に関する情報の公開、広報の方策についての評価	○当該都市公園について、広く利用情報を公開、発信する姿勢、方策を実施している	A	A	A
		区分評価				A
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用（設置目的）を最大限発揮するものであること	事業計画書の内容における基本的な考え方についての評価	○「公の施設」を運営・管理するという基本的な考え方を有し業務を遂行している	A	A	A
		園内の施設等管理に対する考え方についての評価	○各施設の維持管理のため、各施設の特性を理解して管理・運営している	A	A	A
			○施設（有料公園施設については除く）の維持管理のため、安全性、機能保全、快適性を確保する管理・運営を実施している	A	A	A
			○家畜等の飼育の基本方針に従い、具体的な方策を実施している	A	A	A
			○公園利用者が快適に過ごすことのできる芝生管理、草刈、樹木剪定を実施している	A	A	A
			○公園利用者が快適に過ごすことのできる芝生（サンデー広場）の育成管理を実施している	A	A	A
		管理の質及び利用者サービスの向上に対する取り組みについての評価	○管理の質及び利用者サービスの向上に対する具体的な方策を実施している	A	A	A
			○利用者ニーズや苦情に対する把握方策及びその対応策を実施している	S	S	S
			○当該公園全体の利用促進に対する方策を実施している	A	A	A
		その他応募者の独自提案	○その他公園の設置目的を最大限に発揮できるような独自提案について実施している	A	A	A
		区分評価				A

区 分	選 定 基 準	評 価 項 目	具 体 的 な 業 務 要 求 水 準	評 価		
				指 定 管理者	所管課	評 価 委員会
効率性	事業計画書の 内容が、管理 経費の縮減が 図られるもの であること	「事業計画書の内容が管理経費の縮減が図られるものであること」に対する基本的な考え方についての評価	○当該公園の効用が最大限に発揮できるための、効率性の高い業務を遂行している	A	A	A
		管理に係る経費の縮減に対する取り組みについての評価	○指定管理経費を縮減するための方策を実施して、指定管理料に反映されている	A	A	A
			○スタッフ（採用予定者も含む）の配置は適正なものとなっている	A	A	A
		その他経費縮減について応募者の独自提案	○経費縮減について応募者の独自提案を実施している	A	A	A
		区分評価				A
安定性 安全性	事業計画書に 沿った管理を行 う物的能力、人 的能力を有して いること	当該団体の業務遂行能力についての評価	○業務を遂行できるための安定的な経営基盤を有している	A	A	A
			○業務を遂行できる適正な団体構成となっている	A	A	A
			○組織及びスタッフ（採用予定者も含む）の経歴、保有する資格が適正であり、ノウハウ、専門知識等を使い管理している	A	A	A
			○業務を遂行するにあたり、スタッフ（採用予定者も含む）の管理、適正な監督体制をとり、人材育成の方策を実施している	A	A	A
			○施設の日常点検、定期点検など、異常を早急に発見しようとする方策を実施している	A	A	A
			○異常があった際に、応急措置を行う体制が整っている	A	A	A
			○法令を遵守する重要性や個人情報保護について理解し、情報の漏洩を防ぐための方策を実施している	A	A	A
		緊急時における対応についての評価	○事故を予防するための体制が整っている	A	A	A
			○事故の発生時に被害者への対応及び施設の復旧などの方策を実施している	A	A	A
			○大雨、地震などの災害発生が予想されるとき、または発生した時の体制が整っている	A	A	A
			○災害発生後の対応について、罹災状況の確認と早急な復旧をする態勢が整っている	A	A	A
		区分評価				A

区 分	選 定 基 準	評 価 項 目	具 体 的 な 業 務 要 求 水 準	評 価		
				指 定 管理者	所管課	評 価 委員会
貢 献 性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域（以下「地元」という。）の振興、活性化などに貢献できるものであること	事業計画書が地元活性化、地元 に貢献できる内容であるかの 評価	○地元での社会活動を具体的に 実施している	A	A	A
			○公園の特徴を理解し、地元への 配慮等を実施している	A	A	A
			○地元の法人その他の団体の育 成施策を実施している	A	A	A
			○地元の住民、高齢者、障害者等 の雇用が確保されている	A	A	A
		区分評価				A

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

前回までの意見を踏まえた取組み状況	1 自然と触れ合う機会の創出を目的とした「椿洞まるっと里山体験」等のイベントを開催し、幅広い世代の利用促進を図った。 2 岐阜県中央家畜保健所、岐阜市畜産課、岐阜市公園整備課と連携し、「岐阜市畜産センター公園家畜伝染病に関するマニュアルを遵守するための手順書」の飼養衛生管理基準を遵守した。 3 公園情報が発信される取り組みとして、イベント情報や季節ごとの見どころを、インフォメーション、ホームページ、SNS、広報ぎふで情報発信を行った。
今期の取組に対する評価	1 畜産エリア・乗馬施設 乗馬施設では、6頭の乗用馬を飼養している。 飼養衛生管理基準の遵守 ・各種チェックシートを活用して、「岐阜市畜産センター公園家畜伝染病に関するマニュアルを遵守するための手順書」を遵守した。 ・車両消毒のため、各衛生管理区域出入口にて高圧洗浄機・動力噴霧器を使用し防疫を徹底した。 ・「岐阜市畜産センター公園家畜伝染病に関するマニュアルを遵守するための手順書」に基づいた衛生管理を実施した。 ・衛生管理区域を示して、(関係者以外の)立入禁止区域を周知した。 その他 ・良好な環境保持のため、家畜放牧場・園路・広場等畜産エリア内の除草・枯れ枝処理・芝生管理を行った。 ・乗馬施設の出入口に看板を設置し、施設利用者の誘導を図った。 ・乗用馬の罹病防止対策として装蹄、予防注射、各種診療を行った。 (傷治療5回、装蹄2回、センツウ2回、歯治療1回) 2 公園エリア 環境対策 ・園内花壇に花苗を植栽した。 (15か所で1回、ビジターハウス前花壇1回、計400株) ・園内各所の除草・枯損木の伐倒・枯れ枝の処理をした。 ・芝生広場に排せつされた野生動物の糞を7回除去した。 ・芝生広場管理(芝刈り3回 ブラッシング3回 病虫害対策1回)をした。 ・バラ園の除草・剪定・病虫害防除・捕殺を行った。 (秋のバラ園 10月18日～11月30日) ・安心して散策ができるよう森林内山道付近の枯損木、傾斜木、枯れ枝を処理、雨水等で浸食された山道の凹凸部に土砂入による整備、林内の伐採木を利用した土留め補強を行った。 ・倒木の危険が予測された枯損木を伐採した。 ・植物見本園内の植物を同定し、重複する植物の選定と複数重複した樹木の伐採・剪定を行った。 また、植物の位置を測量し、今後の園内マップ等に反映させる取り組みを行った。 ・北展望台、南展望台、中野峠を結ぶ山道の通行に支障を与える支障枝、折れ枝等について、剪定、伐採を行った。 ・ドッグランの維持管理として、刈り払い機による除草、凹んだ箇所への砂入れによる修復を行った。 ・プレーパーク開催に向け、開催場所及び周辺の草刈り管理について、子供たちが遊び場として利用しやすい草丈で草刈りを実施するとともに危険昆虫、動物の駆除を行った。

今期の取組に対する 評価	3 その他 ・来園者へのサービス向上のため、飲食を提供した。 ・「沖縄フェア」と称し、沖縄より食材を仕入れ、喫茶メニューに追加した。（具体的なメニューは、ラフティーカレー、沖縄そば、タコライス、らふてい。コーヒー等の飲み物をご注文頂いたお客様には、サービス品として沖縄黒糖を提供。） ・地域交流として毎月「ときわまちづくり協議会」へ参加した。 ・園内で見ごろを迎える花・木等の情報発信は、インフォメーション、ホームページ、インスタグラム、X等で公開した。 ・秋バラ、椿、ユキワリイチゲ等の季節の花の開花状況や位置について、全職員が把握できるよう毎日の終礼時に周知し、園内利用者からの問い合わせに対応した。 ・自然に触れ合う機会の創出を目的とした「自然散策会」を2回開催した。 ・自然の中で子供たちが自由な発想で遊びが体験できるプレーパークを3回開催した。 ・あそびの広場 2025～芝生広場で遊ぼう！～を開催した。 ・芝生広場でご家族みなさまが1日楽しく遊べるイベントを開催した。レクリエーション遊び、ネイチャークラフト、ミニプレーパーク、ピザ焼き体験、移動どうぶつ園、ポニー乗馬&ふれあい、縁日あそび、ワークショップ、乗馬エサあげなど。岩野田中学校の生徒14人がボランティアとして、各ブースの運営に参加した。ふわふわバルーン、大道芸、キッチンカーを業者に依頼。約1500名参加。 ・希少生物保護(ヤマトサンショウウオ)のため、産卵地の整備、捕食する生物の移動および駆除(外来種)など、岐阜高校の指導を受けながら環境整備を行った。 ・ワークショップの参加人数は次のとおり。 ・ミニ盆栽風苔玉のワークショップ：午前と午後各15名の募集に対し、午前27名、午後14名の申し込み。 ・秋色の季節の花の寄せ植えワークショップ：午前と午後各30名の募集に対し、午前25名、午後29名の申し込み。 ・木の実のミニクリスマスツリーのワークショップ：午前と午後15名の募集に対し、午前13名、午後12名の申し込み。 ・クリスマススワッグのワークショップ：午前と午後20名の募集に対し、午前20名、午後29名の申し込み。 ・葉っぱ×陶芸葉っぱ模様の小皿ワークショップ：午前と午後20名の募集に対し、午前14名、午後9名の申し込み。 ・冬をあたたかく彩るクリスマスリースのワークショップ：20名の募集に対し、18名の申し込み。 ・新年を彩る季節の花の寄せ植えワークショップ：午前と午後30名の募集に対し、午前30名、午後24名の申し込み。 ・ミニ門松のワークショップ：午前と午後15名の募集に対し、午前35名、午後43名の申し込み。 ・生花で作る春色のブーケワークショップ：午前と午後15名の募集に対し、午前12名、午後8名の申し込み。 ・季節の花の寄せ植えワークショップ：25名の募集に対し、44名の申し込み。 ・春の草木染めワークショップ：午前と午後15名の募集に対し、午前15名、17名の申し込み。
今後の取組み	1 公園で飼養される馬の適正な管理を行うため、市が定めた「岐阜市畜産センター公園家畜伝染病に関するマニュアル」を遵守するための手順書について、適宜見直しを行う。 2 岐阜県中央家畜保健衛生所、岐阜市畜産課、岐阜市公園整備課と連携し、家畜伝染病に対する防疫体制を維持する。 3 芝生広場等の緑地の日常管理（除草、枯損木処理等）を行う。 4 園内に生育する貴重な植物の生態系を守り、持続可能な形で利用できるように努める。

今後の取組み	5 樹木名板の設置、サイン類の改修、不要看板の整理など公園まると植物図鑑構想を推進する。植物見本園の専門家による改修を継続的に行い、植物の観察がしやすい環境づくり、自然散策会のイベントを開催し、多様な生物が生きられる里山の生態系を守る。 6 支障木・枝の管理、剪定管理などで排出される資源を持続的に効率よく使えるようにするため、プレーパークなど体験型イベントに利用し、公園の緑豊かさを PR する。 7 子どもたちが自由に遊び、自然と触れ合うことができるプレーパークを開催する。会場周辺の竹林、山林を活用し、子供たちの自由な発想で遊び場を作る。 8 春のイベント「バラまつり」を開催する。バラ苗の販売、ピザ焼き体験などバラを鑑賞しながら飲食を楽しめる内容を企画する。再整備工事に伴い、南駐車場の利用制限があるため、例年 2 日間開催を 1 日開催へ変更し、イベント内容を縮小し、バラに特化した内容へ変更して開催する。昨年実施したポニーによる乗馬・餌やり体験、ワークショップについては、バラ祭りとは別の日に動物ふれあい、花苗販売、ピザ焼き体験などのイベントを開催する。 9 岐阜高校と合同で希少生物保護（ヤマトサンショウウオ）のため、希少生物の産卵地の整備、希少生物を捕食する生物の移動および駆除(外来種)など、岐阜高校の指導を受けながら環境整備をより積極的に行う。 10 岩野田中学の特別支援学級の生徒を受け入れ、月 1 回の校外学習を開催する。 11 とさわまちづくり協議会に参加し、地域住民の利用促進に努める。
---------------	---

●所管課の意見

○すべての業務において着実に履行できている。

- ・伐採により発生した園内の木材を再利用し、ビジターハウス前の花壇へ季節感溢れるオブジェを制作・設置したほか、『そとあそび大作戦』では遊具製作の資材として提供するなど、資源の循環と利用者の満足度向上に努めている。
- ・公式 LINE に新規登録した方を対象に、園内喫茶コーナーにて『おやき』を無償提供するキャンペーンを実施し、友だち登録者数の増加を図った。これにより、迅速な情報発信を実施し、来園者の利便性をより一層高めるよう努めている。
- ・動物とのふれあいを求める市民ニーズに対応し、11 月に移動動物園や乗馬体験を実施したほか、12 月からは山之村牧場（株）との連携によるモルモットの常設展示・餌やり体験を開始するなど、外部機関との連携を強化し、冬季の集客力向上と利用者満足度向上に努めている。

以上により、運営状況は、協定書の内容に基づき、良好である。

●指定管理者評価委員会の意見

○すべての業務において着実に履行できている。

- ・園内伐採木を再利用し、オブジェ制作や『そとあそび大作戦』の資材に充てるなど、資源循環と利用者満足度の向上に努めたことは評価できる。
- ・公式 LINE の新規登録者に園内喫茶コーナーで『おやき』を無料配布し、友だち登録者数を着実に増加させた。こうした取り組みを通じて迅速な情報発信を実施し、来園者の利便性向上を図ったことは評価できる。
- ・市民ニーズに即した移動動物園の開催や、外部機関との連携によるモルモットの常設展示は、冬季の集客課題を解決しつつ新たな魅力を創出するものであり、利用者満足度の向上に努めたことは評価できる。
- ・今後も、災害への危機管理、安全性を保ちながら、公園の利用促進及び満足度向上につながる取り組みを期待する。

管理運営は適正に行われており、良好と認められる。